

おきみゅー通信

Okinawa Prefectural Museum and Art Museum News Letter

vol.08 夏号



儀間比呂志《花笠(梅)》1978-83年（コレクション展「儀間比呂志の世界」より）

＼愛称がおきみゅーになりました！／



沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

夏休み企画展インタビュー

追悼水木しげる

ゲゲゲの人生展

7/11(水)~9/2(日)
2018

企画ギャラリー1・2

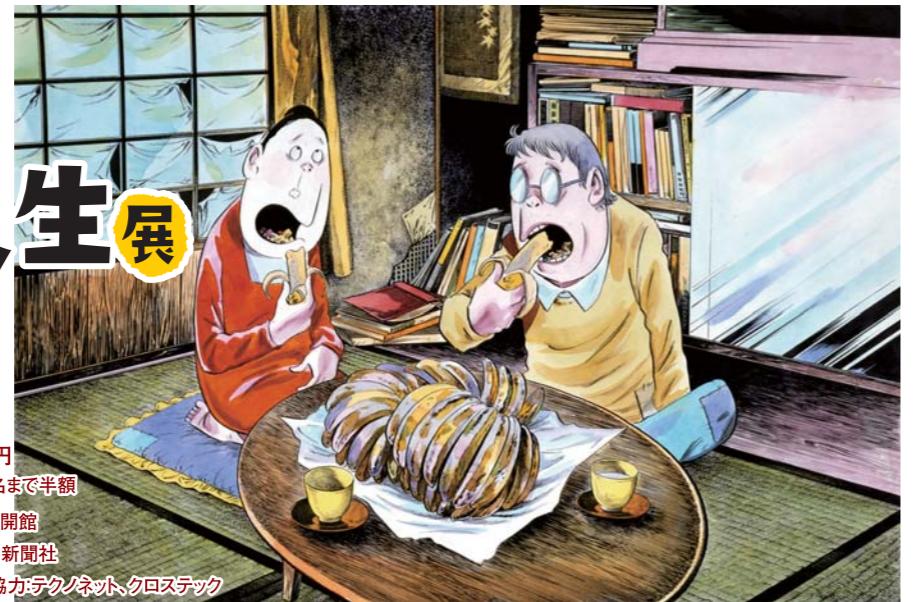
一般 1,100円、高校・大学生 900円、小・中学生 600円

※未就学児は無料 ※障がい者手帳提示者1名と介助者1名まで半額

休館日:月曜日、7月17日(火) ※ただし、7月16日(月・海の日)は開館

主催:一般財団法人沖縄美ら島財団、沖縄テレビ放送、朝日新聞社

企画協力:水木プロダクション 協賛:ライアートブックス 協力:テクノネット、クロステック



バナナを食べる水木夫妻 1989年 ©水木プロダクション



夏休み企画として「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」が開幕します。展覧会を企画した朝日新聞社の藤本圭太企画委員に展覧会について聞きました。

朝日新聞社 企画事業本部
藤本圭太 企画委員

「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」はどういう展覧会ですか？

今回の展示は2015年に亡くなられた水木しげるさんの人生を振り返って追悼する展覧会になります。一人の人間が生まれてから死ぬまでの生き様をそのまま展覧会にした、人間ドキュメンタリーのような意味合いがあります。水木さんは、戦前、戦中、戦後の時代を生き、高度経済成長期のなか、売れっ子漫画家として成功し、その後は自分の好きなことをしようということで世界に飛び出し妖怪研究をしました。一作家の展覧会ですが、日本の近現代史を見るような展示ともいえます。驚いたことに、水木さんは各時代の自分の記録をたくさん残しています。画家になりたいと思っていた少年時代の作品や戦時中に家族に送った手紙、戦地で描いた絵、それこそ「へその緒」(!)も残しています。その頃から今回のような展覧会をやることをわかっていたのかと思うほどです。

す。2015年に見つかったこの手記からは「生とは何か？死とは何か？」といった問題について、哲学書を読み漁って考えていた様子が伺えます。我々が知るのんびりとした水木さんのイメージとは異なる、深刻な一面を見ることができます。「出征前手記原稿」は傷んで読めないところもありますが、よく見ると「芸術が何だ哲学が何だ。今は考える事すらやるされない時代だ。」などと読みます。やはり、死が身近にある環境と、画家になりたいという思いの葛藤があったのかもしれません。

戦記漫画の描写には力が入っています。『総員玉砕せよ!』(1973年)などは自分の体験を描いているといわれますが、戦地に行った人間でないと描けないアリティがあります。水木さんのなかでも戦争体験を後世に伝えなければという思いが強かつたと思います。それは生前お話を聞いても感じたことです。



ズンゲンで爆風を受ける 1988年

今回、戦記マンガについても展示されています。水木さんにとって戦争のテーマとは何だったのでしょうか？

戦争のテーマは過去の展覧会でも取り上げましたが、今回は特に、出征前の不安や苦悩を記した手記を初めて出品していま

沖縄で開催することについてはどのようにお考えですか？

本展はどうしても沖縄で開催したいと思っていました。水木さんも喜んでくれていると思います。ここ沖縄の展示では、沖縄戦を題材にした作品(「沖縄に散る一ひめゆり部隊哀歌」など)の特別展示も行います。戦争が深い傷あとを残している沖縄にとって特別な展覧会になると思います。また、沖縄には妖怪がたくさんいるので、新たに18点の妖怪画を追加して紹介します。*

今回の展示で、ぜひ見て欲しいところを教えてください。

一人の人間がこれだけ多くの作品を生み出したというのを、一堂に見られる機会はないと思います。貴重な原画だけでなく、

多忙だった時代の書斎を実寸大で再現して、そこに鬼太郎や妖怪たちが現れるコーナーなど、水木さんらしい遊び心のある楽しい展示となっているというのもお伝えしたいです。また、妖怪博物室というコーナーでは、水木さんが集めた民族資料コレクションが展示され、怖い雰囲気も味わえます。

それから、水木さんの魅力はやはり出版された漫画であり、その描写とストーリーだと思いますので、ショップでは水木漫画も多数扱っていますので、是非買って読んでほしいと思います。

*沖縄関連展示は複製作品と書籍で紹介します。

インタビューをもっと詳しく読みたい方は、OkiMuホームページへ (<http://okimu.jp>)

夏休み企画展

ティラノサウルス展 進化の謎に迫る

本展では、暴君王T.rexを含むティラノサウルスの仲間にスポットを当て、「ティラノサウルス類の起源と進化」を様々な資料により解説。その生態に関する最新の研究にもとづいて紹介します。全長12mを超えるT.rexの全身骨格とともに、その亜成体と考えられる若きティラノサウルス“ジェーン”的全身骨格もあわせて展示します!

7/13(金)
2018 9/9(日)

博物館特別展示室・企画展示室
一般 1,200円、高校・大学生 1,000円
小・中学生 800円、3歳～小学生未満 300円
※障がい者手帳提示者1名と介助者1名まで半額
主催:一般財団法人沖縄美ら島財団、琉球新報社
協力:沖縄県立博物館・美術館

群馬県立自然史博物館、天草市立御所浦白亜紀資料館

図解！ティラノサウルス

暴君王と呼ばれる
ティラノサウルス・レックス
は恐竜の中でも最も凶暴な
恐竜として知られています。
どんな特徴を備えた恐竜なのでしょうか。

ティラノサウルスの高さ約4m



ティラノサウルスの寿命

ティラノサウルスの平均寿命はおよそ28歳と推定されている。14歳ぐらいまでは他の獣脚類と同じように成長するが、その後ティラノサウルスだけは急激に成長し、その体重は1年で最大760kg増えるという計算となる。

ティラノサウルスはその他にも優れた能力を持っていたようだ。
噛む力、走る速さ、鼻の良さ…

ティラノサウルスの凄さをおきみゅーで確かめよう！

この夏、「ティラノサウルス展」がおきみゅーにやってくる！

会場に行く前にティラノサウルスについて予習しよう！

復元画: 月本佳代美

儀間比呂志の世界

7/13—1/6
2018 金 2019 日

コレクションギャラリー1.2

一般 310(250)円

高校・大学生 210(170)円

小・中学生 100(80)円(県内小学・中学生は無料)

※()内は20名以上の団体料金

※未就学児、70歳以上の方(証明書の提示が必要です)、障がい者手帳をお持ちの方(手帳の提示が必要です)及び介助者の方1名は無料

コレクションギャラリー3では「沖縄美術の流れ」を同時開催

[関連情報]

「MONGOL800 ga EXHIBITION モンパチ展 in Okinawa – 20th Anniversary」

10月6日(土)~11月5日(月)

博物館企画展示室・特別展示室

この秋、儀間比呂志と親交のあったロックバンドMONGOL800の展覧会が当館で開催されます。「儀間比呂志の世界」では、MONGOL800のメンバーと制作した詩集『琉球愛歌』(2009年)に収められた版画作品も展示します。



儀間比呂志

儀間比呂志(1923-2017)は、沖縄の画家、版画家で絵本作家でもあります。人物描写が得意で、太く黒い線で南方系の女性を描いた油絵や、沖縄の美しい風土、またその美しさを奪った戦争などをテーマにした木版画で、広く知られています。

戦後長く大阪を拠点としながらも、儀間の眼は常に沖縄へと向いていました。

1923年生まれの儀間は、沖縄で久米三十六姓と呼ばれる中国からの渡来人の集団の出身で(蔡氏)、琉球王国の外交(学問教育)を担った先祖を持ちます。絵を描くことを咎められた儀間少年は、1940年5月7日に出奔、北マリアナ諸島テニアン島へ渡りました。そこで杉浦佐助という、宮大工上がりの彫刻家と出会います。

時を経て戦後、配属先の横須賀で敗戦を迎えた儀間は、当時アメリカ統治下にあった沖縄へ帰るすべを持たずに、復員列車で大阪へ到着し定住しました。1946年から大阪市立美術研究所で油絵の研修を受け、版画家の上野誠に木版画を学び、制作活動を始めます。複数の公募展へ次々と出品を重ねながら、沖縄での個展も続けました。1970年以降、木版画に専念します。大胆な構図に鮮やかな色が魅力の儀間版画は、太い線を版本に彫り墨で刷った後、裏彩色で端々しく色を差して制作しています。

2017年に94歳で亡くなつてから、当館初の追悼展となる「儀間比呂志の世界」では、油絵や版画など所蔵品を中心に紹介し、画家の実像に迫ります。(学芸員 豊見山 愛)

※一部展示替えあり。9月26日(水)より公開。

美術館企画展

沖縄の美術シリーズVII

宮城健盛展

9月の開幕に先立ち、多様な画風で描いた宮城健盛の作品を紹介します。

9/12—10/28
2018 水 2019 日

美術館企画ギャラリー1.2

※料金は追ってホームページなどでお知らせします



① 1950年代

《老樹》1958年
宮城の画業は、鹿児島県の大島高校での教員を経て帰沖した後、本格的に始まりました。この頃は、終戦後の風景を捉えたものが多く、力強いタッチで描かれています。ローカルを意識したモチーフです。



② モダニズム絵画への挑戦

1950年代後半から、中央画壇がそうであったように宮城の作品も抽象化へと向かっていきます。本作は画面を分割するような強い線と色面が特徴で、ペインティングナイフで厚塗りし、形を作っています。黒々とした鶴が向き合う躍動感と緊張感がみなぎる作品です。

③ 抽象へ 1960年代後半



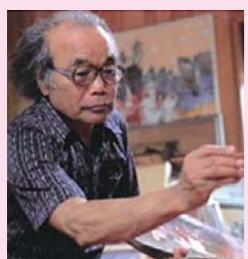
《黄の点滅》1966年

作品の抽象化は進み、大きなストロークで描き、やり直しきかないアクションペインティングの様式を踏まえています。しかし完全な抽象ではない独特の世界を生み出しました。



④ オリジナリティの追求

《香港(海)》1972年
70年代に入るとじみやばかしを用いた水彩画のような、薄塗りで余白を生かした油絵を創り出します。宮城が研究していた中国絵画との関係性が見えます。



宮城 健盛 (1915-2001)
東京美術学校図画師範科卒業の宮城健盛は、指導者としての功績はもとより、沖縄の画壇の隆盛に尽力した画家でした。戦後沖縄の前衛絵画をリードし、安次嶺金正や玉那霸正吉、安谷屋正義、安次富長昭らと共に活動しました。終戦直後から1950年までは奄美大島で教師として赴任。帰郷後は沖縄の美術教育の発展に寄与し、沖縄旺玄会を創設、多くの後進を育てました。宮城はユーモア溢れる親しみやすい人物である一方、自身の創作活動については柔軟で真摯に課題に挑み続け、画風が変化し続けた稀な画家といえます。展覧会では、宮城の独特的な作風について考察します。

館長エッセイ

「朝鮮国書」のはなし

沖縄県立博物館・美術館 館長 田名 真之

琉球国王宛の朝鮮国王の書翰はなぜ都城島津家に伝わったのか。田名館長が解説します。



「朝鮮国書」(都城島津邸所蔵)

博物館の常設展示室の「王国の繁栄」コーナーに、「朝鮮国書」がある。縦58.1cm、横118.4cmの大きなもので、弘治十三(1500)年正月日付で、朝鮮国王の李隆から琉球国王(尚真)に宛てた書翰の複製である。原本は都城島津邸(宮崎県都城市)が所蔵している。

国書の内容は、1497年に朝鮮南部の濟州島に漂着した琉球船(宮古多良間島)の乗員(10人中現存の4人)を、対馬人に託して琉球に送還する、というものである。

『朝鮮王朝実録』ではこの漂流民の送還について、倭人に託して送還するか、それとも使節に同行させて、北京で琉球使節(あるいは中国側に)引き継ぐかといった議論があったとする。倭人に託すのが容易だが、要求された経費が高いとして、北京経由に決していた。しかしながら結局1500年正月に到って、対馬人に託して送還となつた。15、16世紀、琉球も漂着した濟州島民らの送還を、博多商人などに託していた。近世に入ると、種々の理由から琉球、朝鮮とも漂流民の送還は日本経由ではなく中国経由となる。

ところで、国書の差出人の李隆は李朝10代の国王で、王朝第一の暴君とされる。

クーデターで王位を追われ、配流先の江華島で没した。廃位のため、諡号(おくり名=太祖、世宗など)もなく、燕山君と称される。在位中、2度の大肅清を行い、貴族や学者、下級官吏まで虐殺した。韓国ドラマ「大長今」のチャングムの父(もと武官)も肅清の対象で、その捕縛からドラマが始まっていた。

朝鮮国王から琉球や日本の国王に送られた国書は、12通確認されているが、1500年の本史料が最古であり、1590年の秀吉宛がこれに次ぐ。朝鮮と日本の外交関係を示す一次資料として、本史料を含め8通が国の重要文化財に指定されている。

この尚真宛の朝鮮国書が、都城島津家に所蔵された経緯について、同家の記録に、1750年に家臣の向井新左衛門が差し上げたとある。では、向井新左衛門(向井家)はいつどこでどのようにして国書を入手したのだろうか。島津氏の琉球侵攻の際、向井家の先祖も従軍したといい、その際に手に入れた、また従軍の恩賞として等々、諸説ある。向井家の先祖は中世には海上勢力として威を振るっていたといい、朝鮮の送還船を襲撃して入手との説もあるが、送還船が無事琉球に到達したであろうことは、その後の琉球使節の朝鮮渡航などが



「朝鮮国書」(複製)は常設展で展示中!

博物館常設展

一般 410(330)円

高校・大学生 260(210)円

小・中学生 150(100)円(県内小・中学生は無料)

※()内は20名以上の団体料金

※未就学児、70歳以上の方(証明書の提示が必要です)、障がい者手帳をお持ちの方(手帳の提示が必要です)及び介助者の方1名は無料

教育普及活動 OKINAWAアートワークショップ

ある日の
教育普及担当学芸員の会話

保久村さん：ワークショップって小中学生対象が多いですよね。私達大人も作りたくないですか？

いつも「私も作りたい」と思いながら実施してるよね。きっと同じ思いの人達がいっぱい居るよ！対象の幅を広げてみようか？

富原さん：ご夫婦や友達同士、親子、お一人と色々な方が楽しめるワークショップが良いですね。面白い作品がいっぱい出来そう。何を作りましょうか？

首里にシーサーを作ってる工房があるけど、おもしろそうじゃない？その他にもウージ染めや紅型、学芸員実習に来ていた大学生もワークショップのアイデアをいっぱい持ってたよ。

大学生に講師として活動の場を提供できますね。それにしても沖縄に深く関わるモノが多いなあ。

いっそ、沖縄をテーマに企画してみようか。身近すぎて気付いてない事も多いはず！

こうして、地元の素材・題材にこだわった大人も子どもも一緒に参加できるワークショップの企画が実現しました。知ってるようで知らない「おきなわ」を、触って作ってみんなで再発見しましょう!!

※時間や申し込み方法など詳細は、チラシ・ホームページをご確認ください。

7/15(日) シークワーサーの木でおはし作り
8/18(土) 沖縄の植物(クロトン)で押し花アート
10/20(土) ボク・わたしの山羊
12/15(土) 千支紅型でお正月仕度
2/16(土) 石獅子守り神づくり

ふれあい体験室からのおしらせ

新しい体験キットが仲間入り！

昨年11月に開催した開館10周年記念展「海の沖縄」のために作られた6つの体験キットが、ふれあい体験室で楽しめます！今回は、特にオススメのキットを紹介しちゃいます！

7月公開予定！

体験キットNo38「貝のフシギなたち」

いろんな種類の貝たちが、さまざまな角度から切断された体験キットです。貝の断面から成長の様子を知ることができますよ。実際に手に取って、貝の美しさ・不思議さに触れてみよう！

ハンゾーくん

ホシダカラ
縦に切るとこんな感じ！

タカセガイ
横に切るとこう見えます

7・8・9月のイベント情報

Museum 博物館

文化講座

無料

[各回共通] 時間 14:00~16:00 場所 講堂 定員 200名

7/14(土) 日本の恐竜化石 -篠山層群の化石を中心として-
(ティラノサウルス展関連)
講師 三枝 春生氏

8/18(土) 最新恐竜学 (ティラノサウルス展関連)
講師 真鍋 真氏

9/15(土) 文化財を守り、伝える。-保存修復の現場から-(仮)
※時間変更の可能性あり
講師 土井 菜々子氏 嘉間 巧氏

学芸員講座

無料

[各回共通] 時間 14:00~16:00 場所 博物館講座室 定員 80名
※8月4日のみ9:30~12:00事前申込(7月12日~)・小3~中3対象・定員15名

7/15(日) きれいな「模様」、おもしろい「形」-琉球の工芸品に表される意匠-

8/4(土) 博物館バックヤードたんけん！

9/1(土) 沖縄の民話の発信について-デジタルミュージアムの構想と成果-(仮)

展示解説会

各回 共通 時間 14:00~15:00 場所 博物館常設展示室
※当日有効の常設展観覧券が必要

7/12(木) 教育普及
8/9(木) 美工
9/13(木) 考古
講師 大川 剛
講師 與那嶺一子
講師 山本 正昭

バックヤードツアー

無料

各回 共通 時間 14:00~15:00 集合場所 ふれあい体験室前 定員 12名
※当日9:00より総合案内受付

7/28(土) 考古
8/25(土) 生物
9/22(土) 人類
講師 山本 正昭
講師 菊川 章
講師 澤浦 亮平

ふれあい体験室ワークショップ

毎週土曜 開催

ふれたい博士のかんたん化石のレプリカづくり

※8/18はお休みです

時間 1回目 10:00 2回目 10:30 3回目 11:00 4回目 11:30
※所要時間30分

場所 エントランス 参加費 150円 対象 5才から大人まで
定員 当日先着40名(各回10名) ※当日9:00よりふれあい体験室にて全ての回を受付

Art Museum 美術館

「儀間比呂志の世界展」関連催事

7/13(金) オープニング・ギャラリートーク
時間 10:00 場所 美術館コレクションギャラリー
講師 豊見山 愛
※当日有効の美術館コレクション展の観覧券が必要

7/21(土) 学芸員講座
時間 14:00~15:30 (開場13:30)
場所 美術館講座室・コレクションギャラリー1・2 定員 50名
講師 豊見山 愛
※当日有効の美術館コレクション展の観覧券が必要

8/4(土) ギャラリートーク
時間 14:00~15:30 (開場13:30)
場所 美術館講座室・コレクションギャラリー1・2 定員 50名
講師 岡村 幸宣氏
※当日有効の美術館コレクション展の観覧券が必要

8/18(土) 絵本読み聞かせ・ギャラリートーク
時間 14:00~15:30 場所 コレクションギャラリー2
講師 平良 京子氏 作品 『ふなひき太良(たらあ)』
※当日有効の美術館コレクション展の観覧券が必要

9/22(土) 追悼シンポジウム
時間 14:00~17:00 (開場13:30) 場所 講堂 定員 200名
講師 新川 明氏 三木 健氏 川満信一氏 佐喜眞道夫氏
無料

「宮城健盛展」関連催事

9/29(土) シンポジウム
時間 14:00~16:00 (開場13:30) 場所 講堂 定員 200名
講師 調整中
無料

OKINAWAアートワークショップ

場所 県民アトリエ・こどもアトリエ(事前申込制)
参加費 有料 (HP等をご確認ください)

7/15(日) シークワーサーの木でおはし作り
8/18(土) 沖縄の植物(クロトン)で押し花アート

Museum 博物館

「ティラノサウルス展」関連催事 無料

8/18土・19日 ワークショップ
「化石のレプリカ作り体験」

[各回共通] 時間 10:00～13:00～ 場所 博物館実習室
話者 広瀬 浩司氏 定員 先着30名

[表紙作品解説] 儀間比呂志 《花笠(梅)》1978-83年

この版画は手彩色という方法で、黒い線を木版で刷った後、色を絵具で入れています。花笠を持つ舞踊家の横には、おそらく早竹田節(はいくちんぶし)の一節「春や花盛り深山鶯の匂いのほける声のしほらしゃ」(春は花盛り深山のウグイスが、花の匂いを偲び、さえずる声が、かわいらしいことである)が添えられているようです。



[開館時間] 9:00～18:00 (金曜日・土曜日は20:00まで)
※入館は閉館30分前まで

[休館日] 月曜日 (月曜日が祝日にあたる場合は開館し、翌平日が休館)
メンテナンス休館 (6月28日～7月6日)
※休館日は変更することがあります

[ホームページ] <http://okimu.jp>

編集後記 今年も夏がやってきました！県立博物館・美術館が一年で最も賑やかになる季節で、私たちスタッフは腕まくりしてこの季節を待ち構えています。しかも今年は「ゲゲゲの人生展」と「ティラノサウルス展」が同時期開催で、去年以上の盛り上がりが期待されます。ということで、本号の『おきみゅー通信』は展覧会の魅力を伝える誌面作りに努めました。読んで来場すれば、展覧会をより楽しめること必至です。展覧会にイベント、盛りだくさん。夏休みはおきみゅーで多くの時間を過ごしてほしいです！(きなこ)

沖縄県立博物館・美術館 季刊誌

おきみゅー通信 vol.08 夏号

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1 TEL 098-941-8200 (代表)

[発行日] 2018年7月5日

[編集・発行] 沖縄県立博物館・美術館 指定管理者
一般財団法人 沖縄美ら島財団

美術館ミュージアムツアー

[各回共通] 時間 10:30～12:00 定員 12名 (事前申込制)

7/21土 9/15土 講師 富原 圭子

※当日有効の美術館コレクション展の観覧券が必要

「ほうかご 美術の きょうしつ(全4回)」第1期

わざをみがこう—手のワーク 講師 和田 瑞希氏

8/10金 9/7土 時間 17:30～19:00 場所 県民アトリエ、こどもアトリエ

10/6土 11/10土 時間 9:30～13:00 場所 首里城公園

Art Museum 美術館

「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」関連催事

7/15日 講演会「水木サンの見ていたもの」

時間 14:00～16:00 (開場13:30) 場所 講堂 定員 先着200名
講師 京極 夏彦氏 ※本展観覧券または半券が必要

7/18水 読み聞かせ「水木しげるの絵本」 無料

時間 14:00～14:30 場所 本展入口付近 ※どなたでも参加可

7/20金 8/3金 夜のおはなし会「沖縄妖怪話」

時間 19:00～20:00 場所 民家の庭 (悪天候時は美術館講座室)
講師 小原 猛氏 定員 先着20名 ※本展観覧券または半券が必要

7/28土・29日 鬼太郎来たる！

鳥取県観光PRイベント

時間 11:00～13:30～15:00～ 場所 エントランスホール
定員 各回先着50名 ※当日9:00より総合案内にて全ての回を受付 (整理券配布)
※時間や回数は状況により変更になる場合があります
※本展観覧券または半券が必要

8/8水 妖怪大集合

時間 9:00～18:00 ※どなたでも参加可
内容 8月8日の妖怪の日にちなみ、妖怪コスプレでご来場のお客様に展覧会限定オリジナルグッズをプレゼント。

8/15水 終戦記念日特別企画「沖縄戦を語る」

時間 14:00～15:00 場所 本展会場内
定員 先着30名程度 ※展示室にご入場の方 講師 上原 美智子氏

7/13金・28土 夜の上映会「琉球トラウマナイト

8/10金・17金・31金 リアルストーリー

各回 共通 時間 19:00～19:50 場所 講堂 定員 先着200名
※およそ50分を予定していますが、上映時間は作品によって異なります

「沖縄美術の流れ」関連催事

9/1土 ギャラリートーク

時間 14:00～15:30 (開場13:30)
場所 美術館講座室・コレクションギャラリー1・2 定員 50名
講師 調整中
※当日有効の美術館コレクション展の観覧券が必要

対象 小3～小6 定員 20名

参加費 4,000円 (全4回)

申込期間 7/7(土)～(定員に達し次第終了)

※第2期の募集は2018年11月頃予定。